

登録コード	A3592413	開講年度	2026				
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	山田 明義
英文授業名	Presentation						
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年前期
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している					研究活動で得られた成果をプレゼンテーション資料にとりまとめることができる．	
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					研究活動で得られた成果をプレゼンテーション資料にとりまとめ，わかりやすく説明できるようになる．	
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し，発信できる能力を修得している。					研究活動で得られた成果をプレゼンテーション資料にとりまとめてわかりやすく説明し，討論に臨むことができる．	
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ，解決する能力を修得している。					研究活動で得られた成果をプレゼンテーション資料にとりまとめ，聴衆に応じてわかりやすく説明し討論に臨むことができる．	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業では、自分の研究計画、その研究に関連する海外の論文紹介、調査や実験から得たデータの報告、まとめについて、パソコンを用いたプレゼン資料を作成し，セミナー等で発表する。						
(5)授業計画	提示された課題について期限内にまとめる． 期末試験の期間内に授業アンケートを実施．						
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を薦める。						
(7)成績評価の基準	秀：授業の達成目標水準から見て卓越している． 優：授業の達成目標水準よりかなり上にある． 良：授業の達成目標水準よりやや上にある． 可：授業の達成目標水準にある． 不可： 授業の達成目標水準にない．						
(8)事前事後学習の内容	各課題の遂行の前後にディスカッションを行う．						
(9)テストやレポートの予定	なし						
(10)成績評価の方法	発表内容と発表時における質疑応答						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時受け付ける						
(12)履修上の注意	出席が2/3に満たない受講者には、単位を認定しない。						
【教科書】	特に指定しない。						
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術- （酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術 （宮野公樹著、化学同人）						